

# 未来へ伝えたい秋田のインフラ魅力発信事業業務委託企画提案競技審査要領運用基準

## 1 審査項目の細目及び配点ウエイト

次のとおりとする。

		(配点ウエイト)
1	実施体制及び実績	
①	業務の目的を正確に理解しているか	(× 2)
②	過去に同種の業務内容について取組実績があるか	(× 2)
③	提案内容を実現するスケジュールや実施体制が確立されているか	(× 2)
2	企画提案の妥当性	
①	全体として、仕様書の趣旨に適した提案となっているか	(× 3)
②	コンセプト、構成が適切かつ明確であるか	(× 3)
③	誌面案は、一般県民が関心をもつことができる内容となっているか	(× 3)
④	県内インフラ資産の魅力が効果的に伝わる内容となっているか	(× 3)
3	経費の妥当性	
①	積算内訳は妥当か	(× 1)
②	見積額は低廉な価格であるか	(× 1)
5	「女性の活躍推進」に関する取組 ※事務局算出	
①	一般事業主行動計画（女活法・次世代法）の策定・届出、えるぼしチャレンジ企業認定、えるぼし（プラチナえるぼし）認定等の実績があるか	(別紙のとおり)
6	「賃金水準の向上」に関する取組 ※事務局算出	
①	給与等受給者一人当たりの平均給与額が対前年比で増加しているか	(別紙のとおり)

## 2 評価基準

審査項目別に 5 段階の評価とし、次の点数による格付けとする。

点数	内 容
5	十分に満たしており、特に優れている。
4	十分に満たしている。
3	概ね満たしている。
2	不十分である。
1	満たしていない。

出席委員の平均点が 60 点未満の者は委託候補者とししないものとするが、特別の事情がある場合は、審査委員会の決議により、委託候補者とすることができる。

## 3 審査票

別紙のとおりとする。

(別紙)

「女性の活躍推進」に係る取組の評価基準

設定区分			配 点	
大区分	小区分			
一般事業主行動計画の策定・届出	従業員数 100 人以下の企業	女活法※ 2	各 0.25	最大 0.5
		次世代法※ 2		
えるぼしチャレンジ企業認定※ 1			1	最大 3
法令に基づく認定	女活法※ 2	えるぼし	1.5	
		プラチナえるぼし	2	
	次世代法※ 2	くるみん	1.5	
		プラチナくるみん	2	
	若者雇用促進法※ 2	ユースエール	0.5	
秋田県知事表彰の受賞	女性の活躍推進企業表彰		各 0.5	最大 1
	子ども・子育て支援知事表彰			
	男女共同参画社会づくり表彰			

注 1 複数の小区分に該当する場合は、最も配点が高い区分により配点を行うものとする。

注 2 一つの評価項目のうち、複数の大区分に該当する場合は、その合計点（各評価項目 5 点、合計 10 点）により配点を行うものとする。

注 3 共同企業体制度（JV）又はこれに準ずる共同提案等複数の事業者が一体となって提案を行う場合は、参加企業の配点の合計点を当該参加企業の総数で除した点数（小数点以下第 1 位を四捨五入）により配点を行う。

※ 1 「えるぼしチャレンジ企業認定」は、令和 4 年 5 月から県が新たに認定する制度で、主な要件は、えるぼし認定基準に掲げる「女性の採用」や「女性の管理職比率」等の数値目標を 1 つ以上達成し、えるぼしの取得を目指した実施計画を有する中小企業を対象としている。なお、「法令に基づく認定（女活法）」に該当する場合は、「えるぼしチャレンジ企業認定」の配点を行わないものとする。

※ 2 女活法：女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成 27 年法律第 64 号）

次世代法：次世代育成支援対策推進法（平成 15 年法律第 120 号）

若者雇用促進法：青少年の雇用の促進等に関する法律（昭和 45 年法律第 98 号）

「賃金水準の向上」に係る取り組みの評価基準

評価項目	対前年増加率	配点
給与等受給者一人当たりの平均給与額の対前年増加率	1.50%以上	3
	2.00%以上	4
	3.00%以上	5